



かがやけ！王子っ子

㊦んがえる子 ㊦んばる子 ㊦さしい子 ㊦んこうな子

東京都北区立王子小学校

校長 戸倉 務

令和4年11月 1日

◆来校の際には、必ず、ネームプレートを着用し、受付をお通りください◆

困ったら相談、気になったら「おせっかい」を

校長 戸倉 務

二十年ほど前、学級担任として新しい学校に赴任した時のことです。

授業時間中に、一人の男の子が土砂降りの校庭の真ん中で、裸足のまま立ちすくんでいました。傘を差し出されても、受け取ろうとも動こうともしませんでした。

翌年、私は彼の担任になったのですが、自分に何ができるのか、不安に思いました。

Aくん。体も服も長期間洗っておらず、久々に着替えてきたとしても、それはずいぶん前に着続けていた物で、持ち物は彼のために用意されたとは言い難い物ばかりでした。

他の子供たちは彼と一緒に活動することをとても嫌がりました。しかし、教室では一切の差別的な言動は許されず、少しでもそれが見付かれば厳しく指導されるので、相当なストレスを感じていたと思います。

解決の方法はただ一つ、Aくんを保護することだけでしたが、まだ現在のような強い仕組みは確立しておらず、時間だけが過ぎていきました。

ある日の授業中、私は、Aくんが路上でけがをして病院に救急搬送された、という知らせを受けました。学校から病院に駆けつけると、外傷は軽いものの、意識がはっきりしません。保護者に電話をかけたたり自宅に行ってドアをたたいたりしましたが、いずれも応答はありません。ここでようやく、関係機関への保護要請を行うことになりました。

病院で車両を待つ間、Aくんの保護者の方が先に現れてしまうのではないかと、時間が経つのが何倍も遅く感じました。このタイミングを逃せば、Aくんを保護する機会が先送りになってしまいます。そして、病院内での修羅場は避けたいと、祈るような気持ちでした。

Aくんとの別れはあっけないものでした。車に乗せるとき、何か言葉をかけたかは覚えていません。ただこれでよかったのだと思うだけでした。

今でも時々、Aくんはどうしているかなあと、思い出します。自分なりの幸せをつかみ、立派に生きていれば、「よくやった！」とほめてやりたいです。

11月は児童虐待防止推進月間です。困ったら、相談しましょう。気になる親子がいたら、いい意味での「おせっかい」を発揮しましょう。

1年生 遠足

1年 三宅 恵美子

10月4日（火）、気持ちのよい秋晴れの下、飛鳥山公園に遠足に行きました。

1年生にとっては初めての遠足。『早く公園で遊びたい。』『オリエンテーリングって、何をやるんだろう？』『お弁当、食べるの楽しみ!!!』と、どの子も心待ちにしていた様子が見られました。

安全に気を付けながら歩いて公園まで行き、初めにオリエンテーリングを行いました。グループで力を合わせてピンゴを完成させるため、「公園にいる動物は何匹？」「赤い椅子は何個？」などの謎解きや早口言葉、校長先生の特別ミッションに果敢に挑戦していました。



オリエンテーリングの後は、噴水広場でのクラス遊びと、遊具遊びに分かれ、それぞれ楽しい時間を過ごしました。お楽しみのお弁当の時間は、教室と同じく一方向を向いての黙食になりましたが、おいしそうなお弁当を嬉しそうに食べる子供たちの笑顔がたくさん見ることができました。

お弁当を食べてさらに元気いっぱいになった子供たちは、再びクラス遊びや遊具遊びで思いっきり体を動かして遊んでいました。学校に着くまでしっかり歩けるか心配でしたが、帰り道もみんなできちんと歩くことができました。

満足した笑顔で帰ってきた子供たちを見て、充実した時間が過ごせてよかったと思いました。

5年生 岩井自然体験教室

5年 角張 友哉



10月25日（火）から27日（木）の3日間、5年生は岩井自然体験教室に行ってきました。小学校生活初めての宿泊行事で、出発の前から不安や期待で胸がいっぱいの子供たち。今年度の5年生は、子供たちが主体的に活動することを意識しています。岩井自然体験教室でも、プロジェクトチーム（実行委員）を立ち上げ、行程の内容や宿舎での過ごし方などを自分たちで決めました。今年度は、

「協力・けじめ・発見～㊦ろいろ経験 ㊦らって楽しむ ㊦つでもメリハリ～」

をスローガンに掲げ、みんなで支え合いながら3日間過ごしてきました。友達との宿舎での生活や自然豊かな環境での体験は、普段の学校生活では味わえないものでした。100人を越える大人数で生活するので、時間を守って集団で行動するために、一人ひとりの意識を高めて生活することを心掛けました。自分のことだけでなく、互いに声を掛け合いながら過ごす姿が次第に増え、学年全体として成長を感じた岩井自然体験教室になりました。

この3日間で得た経験は何物にもかえられないと思います。友達同士の新たな一面にも気付くことができました。そして、スローガンの中にある、「協力・けじめ・発見」の意味を再確認できるなど、思い出に残る岩井自然体験教室になりました。この3日間の成長を今後の生活につなげていく5年生の姿を楽しみにしててください。